

# 消毒のおはなし



大阪市保健所 感染症対策課

# 手をよく洗おう

**重要!**

**手洗いは感染症予防の基本です。**

石けん自体には消毒効果はありませんが、手の汚れを落とすことにより、細菌やウイルスを手指からはがれやすくする効果がありますので丁寧に洗いましょう。

どんなときにしたらいいの？

- ・ 外から帰った時
- ・ トイレを使用した後
- ・ 調理の前
- ・ 食事の前
- ・ おう吐、下痢をしている人のお世話や処置をしたとき
- ・ おむつ交換をした後
- ・ 使い捨て手袋を脱いだ後



## 手洗いミスの発生部位

手背



手掌



■ 頻度が高い

■ 頻度がやや高い

出典：日本環境感染学会監修 病院感染防止マニュアル(2001)

### 汚れが残りやすいところ

- ・ 指先
- ・ 指の間
- ・ 親指の周り
- ・ 手首
- ・ 手のシワの部分

どのようにすればいいの？



①指輪や腕時計をはずす。



②流水で手をぬらし、石けんをよく泡立てる。



③手のひらと甲を洗う。



④指の間を洗う。



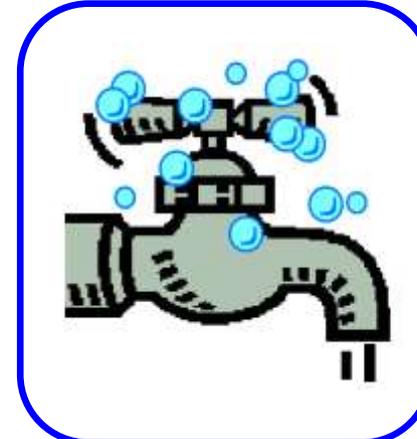
⑤親指も洗う。



⑥指先と爪の間も洗う。



⑦手首も洗う。



⑧水道のカーンも石けんで洗う。



⑨流水でよく洗い流す。

# ノロウイルスによる感染性胃腸炎

## なぜ感染しやすいの？

感染したヒトの便やおう吐物の中には大量のウイルスが含まれ、**少量のウイルスでも感染**します。このためウイルスに汚染された手指や器具、汚染された場所を手でさわっても、手を介して口から入り感染することがあります。

また、ノロウイルスは症状がなくなっても約1週間、長い時には1ヶ月程度便の中に出てくるため、ヒトに二次感染させる可能性があります。



## ★ 消毒のポイント

ノロウイルスの場合、効果のある消毒は**塩素系消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム）**と**加熱（85℃、1分以上）**です。  
消毒用アルコールや逆性石けんは効果がありません。

## ★ 便やおう吐物の処理方法

### 用意するもの

- 使い捨て手袋、マスク



- ペーパータオル、新聞紙、捨ててもよいタオル



- 1000ppmの塩素系消毒薬（薄め方は10ページ参照）



- ビニール袋等の密封できる袋2枚



1



便やおう吐物、処理に使った手袋やペーパータオル等を捨てる廃棄用の袋は、入れやすいようにあらかじめ口を広げておきます。

バケツやごみ箱を枠として利用すると、入れやすいでしょう。

2

腕時計・指輪等はずし、手袋・マスクをつけます。



3



便やおう吐物を新聞紙やペーパータオル等で覆い、その上から約 1000ppm に薄めた塩素系消毒薬をかけた後、静かにふき取ります。

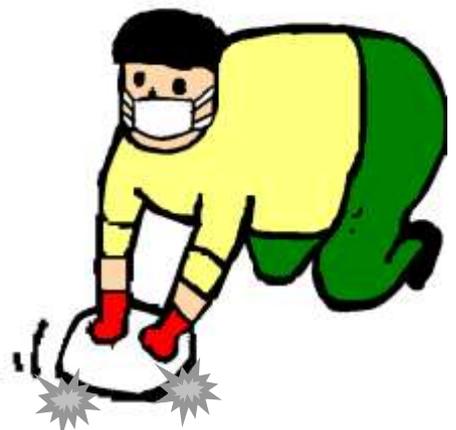
\* 便やおう吐物が乾燥すると、ウイルスが空気中に漂い、それが口に入って感染することがあります。乾燥しないように、処理はできるだけ早くやりましょう。

\* 塩素系消毒薬で色落ちする可能性もあるので、ご注意ください。

4

おう吐物が付着した床や壁を、約 1000ppm に薄めた塩素系消毒薬で浸すように、ペーパータオル等で拭き取ります。

\* 塩素系消毒薬は金属がサビます。拭き取る部分の材質が金属の場合は、30分ほど時間を置いてから、水拭きします。



5



便やおう吐物を拭き取ったペーパータオル等（図3・4）は、すぐにビニール袋に入れます。

6

図5のビニール袋に、約1000ppmに薄めた塩素系消毒薬を中に入れたものが十分に浸るぐらい入れ、口をしっかりと縛ります。



7



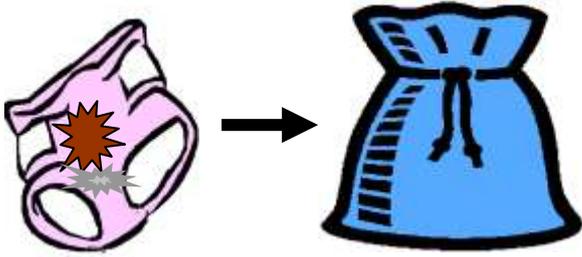
図6の口を縛ったビニール袋を図1のビニール袋に入れた後、裏返しながら脱いだ手袋も入れ、内側を触らないように口を縛って捨てます。

8

最後に手をよく洗います。



## ★ おむつの処理方法



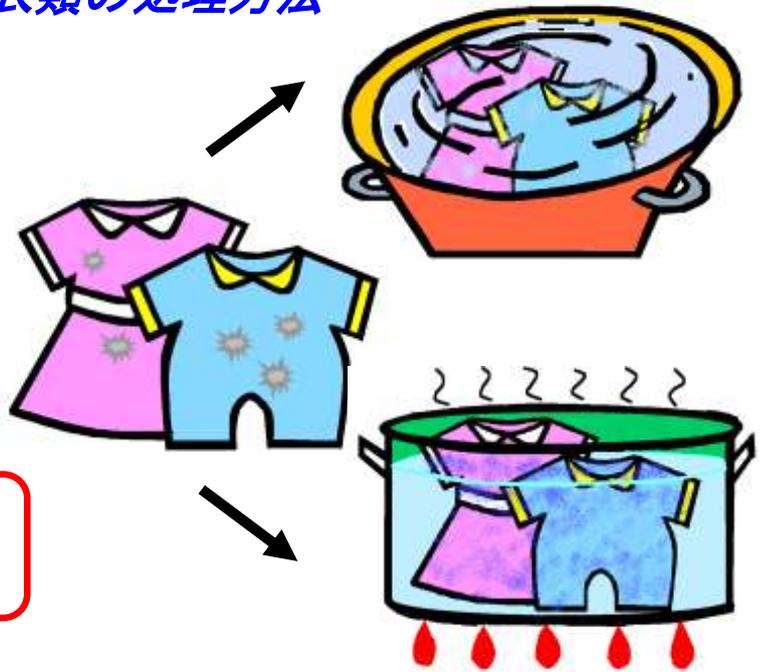
便・おう吐物の時と同じように処理します。おむつは交換後に内容物が飛び散らないように、速やかに閉じて便を包み込み、ビニール袋に入れましょう。複数のおむつを交換する時は、一人の処理が終わったら必ず手袋を取り替えましょう。

## ★ 便・おう吐物で汚れた衣類の処理方法

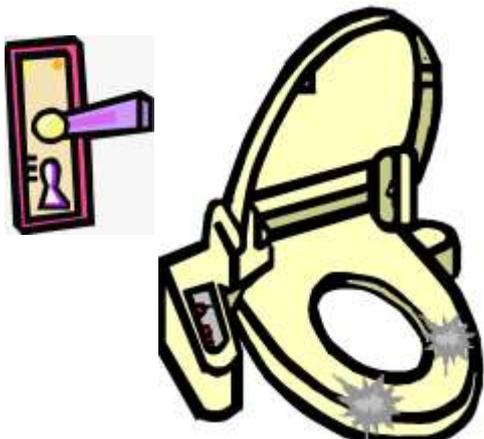
約 500～1000ppm (5%濃度なら 50～100 倍) に薄めた塩素系消毒薬に 30 分以上つけおきします。その後、普通に洗濯します。他のヒトの洗濯物とは別に洗いましょう。

あるいは、熱湯 (85℃、1 分以上) で煮沸します。

**\* 塩素系消毒薬で色落ちする可能性もあるので、ご注意ください。**



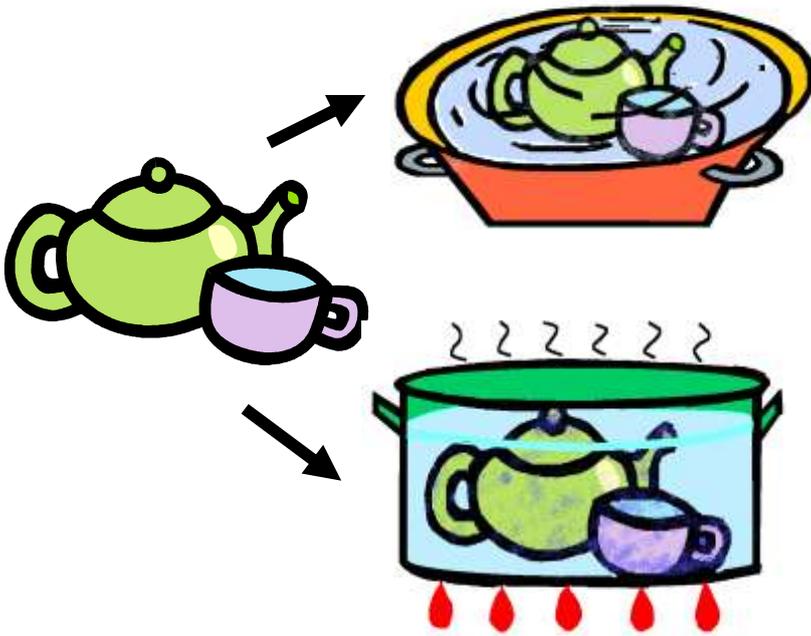
## ★ トイレ・ドアノブ等の消毒方法



トイレの便座、便器の水洗の取っ手、ドアノブ、便器のまわりの床や壁、手すり等は定期的に清掃し、約 500～1000ppm (5%濃度なら 50～100 倍) に薄めた塩素系消毒薬でこまめに拭きます。

**\* 塩素系消毒薬は金属がサビます。拭き取る部分の材質が金属の場合は、30 分ほど時間を置いてから、水拭きします。**

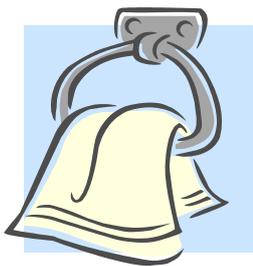
## ★ 食器・調理器具の消毒方法



洗剤等で十分に洗浄した後、約 200ppm (5%濃度なら 250 倍) に薄めた塩素系消毒薬に 5 分以上つけおきするか、熱湯 (85°C、1 分以上) で煮沸します。

## ★ その他注意することは？

入浴はまずおしりをせっけんでよく洗ってから入ります。症状のある時はできれば、シャワーだけにし、回復後 1 週間は入浴順序を最後にしましょう。



タオルや手ぬぐいは、自分専用のものを使い、他の人との共用はやめましょう。

プールに入る前は、おしりを中心に体をよく洗います。

ビニールプール等を利用して水遊びをする時には、こまめに水を入れ替え、使用時ごとに水を交換します。

また、下痢気味のヒトは水にはいらないようにしましょう。

